

# 令和4年度第1回平泉町男女共同参画推進委員会要旨

1 期 日 令和4年9月29日（木） 15：10～15：50

2 場 所 平泉町学習交流施設エピカ 2階 研修室

3 出席者 ▽委員 11人（13人中）  
▽平泉町まちづくり推進課 松本課長、千葉

4 岩手県男女共同参画センター出前講座後の意見交換

題名 「男女共同参画の視点からのSDGs・ジェンダー平等」

▽コロナ禍前にLGBTの講習会などをしていたが、3～4年前はLGBTでQが付き始めたころ。今日来てみたらQ+になっていた。年々増え多様化というのが見えてきていてどんどん変わっていく。これは1回やったからいいと言う研修、講習ではないと思った。これからもこういう機会をどんどん作ってほしいと思った。

▽スカートを履きたくないと感じている女子生徒は各学校にいるようで、今度統合する大東、興田、大原と磐井中は、女子生徒のズボンを導入するようだ。導入していない学校でどうしてもスカートを履きたくない女子生徒が常にジャージでいる学校もあった。

▽胎児期の遺伝子の影響で決定する「性的指向」や「性自認」は生まれつきのものであり、後から変えることはできない、一人の個性であり、親の育て方が悪かったということではないということを聞けたので安心した。

▽エピカが7月にオープンしたが、こういう時代だから男性用トイレ、女性用トイレという区別をやめたらしいのではないかという意見もあった。個室だけたくさん作ればいいのではないかということで、そうすれば男性でも女性でもLGBTQ+の人でも誰でも一人ずつ入れるということだったが、町の施設の改修などの際には、最初にそういうところに目を向けていかなければならぬのではないかと感じた。